

一人1台端末は令和の学びの「スタンダード」

「GIGAスクール構想」を知っていますか??

- Global and Innovation Gateway for All の略。
- × データ量のギガ(GIGABYTE)の略。

多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、子供たち一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現へ。

今回は、文部科学省のリーフレットから、下記のイメージ図を紹介します。



地域連携担当
横村 より

地域とともにある学校づくり
～コミュニティ・スクールの導入～

紋別中学校区学校運営協議会

「地域部活動への移行について」は全ての中学校に関わることから意見交換会を企画し、市内3中学校のCS委員と市教育委員会から堀籠教育長ほか5名が参加して、12月8日(火)に実施しました。

内容は、コミュニティ・スクール通信 第3号(12月23日発行)をご覧ください。



「1人1台端末・高速通信環境」がもたらす学びの変容イメージ

これまでの教育実践蓄積

× ICT

=

学習活動の一層充実
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

	「1人1台端末」ではない環境		「1人1台端末」の環境
一斉学習	<ul style="list-style-type: none"> 教師が大型提示装置等を用いて説明し、子供たちの興味関心意欲を高めることはできる 	学びの深化	<ul style="list-style-type: none"> 教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる → 子供たち一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能に
個別学習	<ul style="list-style-type: none"> 全員が同時に同じ内容を学習する(一人一人の理解度等に応じた学びは困難) 	学びの転換	<ul style="list-style-type: none"> 各人が同時に別々の内容を学習 個々人の学習履歴を記録 → 一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習が可能
協働学習	<ul style="list-style-type: none"> 意見を発表する子供に限られる 		<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の考えをお互いにリアルタイムで共有 子供同士で双方向の意見交換が可能に → 各自の考えを即時に共有し、多様な意見にも即時に触れられる



【現状と課題】

お子さまのいる全家庭の通信環境が整っていないのが現状です。

通信環境がない状況をどう克服していくかなどの課題があります。

※右記は、堀籠教育長のTwitterを引用しました。



紋別市教育委員会教育長 ほりかご やすゆき

291 件のツイート 【 <https://twitter.com/mombetsukyoku> 】



紋別市教育委員会教育長 ほりかご やすゆき @Mombetsu...

ランドセルとタブレット

お盆はランドセルの時期でもあります。来年の新小学1年生は、入学した時から学校に1人1台の情報端末がある初めての学年です。

端末の持ち運びの必要があるかはわかりませんが、家庭でも端末で学習できるよう、家庭の通信環境などの体制を考えていく必要があります。



★マチコミメールについて



登録後、新しいメールアドレスに変更したときは、忘れずに手続きをお願いします。

画面下部の[その他] → [ユーザー設定] → [メールアドレス変更]